

会報



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

第99号



〔風景写真：深井 忠氏〕

目 次

(社)日本空調衛生工事業協会第14回全国会議を京都市で開催	1
(社)日本空調衛生工事業協会平成19年度関東支部総会を千葉市で開催	2
定例理事会議事報告(7月・9月・10月)	3
横浜市まちづくり調整局主催による防災訓練行われる	安全委員会 4
平成19年度第1回経営幹部研修会開催	研修委員会 5
平成19年度第2回経営幹部研修会開催	研修委員会 6
公立工科・工業高校現場実習生の受入れを実施	渉外委員会 6
平成19年度研修見学会開催(三菱電機(株)静岡製作所)	渉外委員会 7
親睦会報告・新会員紹介・会員消息	9・10
当工業会設立40周年記念「クリスマス ハートフル コンサート」(ご案内)	12
編集後記	15

(社)日本空調衛生工事業協会 第14回全国会議を京都市で開催



平成19年10月11日(木)京都市「リーガロイヤルホテル京都」において、(社)日本空調衛生工事業協会第14回全国会議が開催され、全国から約360人の会員等が参加しました。

今回は、「空調衛生工事業の独自性の確立」を基本課題として、まず全体会議が行われ、(社)日空衛石田栄一会長の開会挨拶、国土交通省中島正弘建設流通政策審議官の来賓挨拶の後、基調講演として、独立行政法人国立環境研究所参与(脱温暖化2050プロジェクトチームリーダー)の西岡秀三氏から「低炭素社会の到来」と題して講演が行われ、我が国において、2050年までにCO₂の排出量を1990年に比べて70%削減するには、今後、大胆な社会的、経済的な転換が不可欠であると指摘し、具体的な方策として、利便性の高い快適な居住空間と省エネルギー性能が両立した住宅への誘導によるエネルギー需要の削減対策や大都市圏の都市部と郊外、地方都市と地方都市の郊外・郡部など各地域特性に応じた削減策、各業務・産業部門における低炭素に向けたインフラ投資などをあげました。

続いて、基本テーマ「建設産業政策2007」を踏まえた空調衛生工事業のあり方について、(社)日空衛安藤壽一副会長を司会者に、国土交通省中島正弘建設流通政策審議官、京都大学古阪秀三准教授、(社)日空衛坂井英昭副会長、(社)日空衛是常博常任理事をパネリストにして、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、討議に先立ち各パネリストからの意見発表がありました。

まず始めに国土交通省の中島審議官から、「建設産業政策2007」～大転換期の構造改革と題して、

建設産業を取り巻く変化や「構造改革」の推進、今後の建設産業政策の方向性などについて説明があり、さらに、経営事項審査の見直しや同審査における新たな企業集団評価制度の創設、産業活力再生特別措置法の活用による企業再編の促進、分離・分割発注方式の推進、CM方式導入の促進等最近の国土交通省の主要施策について説明がありました。

また、京都大学の古阪准教授から、「地方の中小空衛工事業者の生き残り策を考える」と題して、中小空調衛生設備工事業の今後の業務領域の拡大又は縮小に関する経営戦略についての提言がありました。

また、(社)日空衛坂井副会長から、空調衛生設備業界の立場からの現状分析と、業界として今何をなすべきか、今何に取り組むべきかについて、業界の地位向上のためには引き続き分離・分割発注を推進していきたい、また将来的には、業界として総合エンジニアリング事業者を目指すようにしていきたいなどの発言がありました。

また、(社)日空衛是常常任理事から、中小設備業のおかれている立場を十分に認識し、スリム化の自助努力をするとともに、大手の得手の部門では勝負しないようにして、専門性に特化するなど、他社には負けない自社の特徴を持つようにしたい。中小事業者は、生き残るのが最大の課題であり、勝つというよりは負けないような仕事をするようにしていきたいなどの発言がありました。

その後、各パネリスト間及びパネリストと会場出席者間で熱心な意見交換が行われ、この中で、出席者の質問に答えて、(社)日空衛坂井副会長は、「建設産業政策2007・日空衛版」を策定するに当たって、空調衛生工事業界が進むべき方向性として、「顧客満足度の達成」、「国民・社会から信頼される産業」、「魅力ある産業への転換」、「地球環境問題への貢献」、「空調衛生工事業の独自性の確立」の5つの骨子をあげ、今後この骨子に具体的な政策、戦略などを肉付けしていきたいと発言しました。

当会からは、川本会長、清水・松本・山本副会長、辻専務理事が出席しました。

(社)日本空調衛生工事業協会 平成19年度関東支部総会を千葉市で開催



平成19年10月26日(金)千葉市中央区の「京成ホテルミラマーレ」において、(社)日本空調衛生工事業協会平成19年度関東支部総会が開催されました。

総会は、開催県の(社)千葉県空調衛生工事業協会の下福康之副会長の司会で始まり、初めに、関東支部長の(社)東京空気調和衛生工事業協会高須康有会長から挨拶がありました。

続いて、出席者の紹介の後、(社)千葉県空調衛生工事業協会の臼倉進会長を議長に選出し、議事に入り、まず、関東支部の事業報告を支部事務局の(社)東京空気調和衛生工事業協会齊間孝一専務理事が行い、承認されました。

次に、本部報告が行われ、(社)日空衛坂山修平専務理事から、最近の日空衛の活動状況について説明がありました。

次に、次期総会を茨城県で開催することを決定しました。

最後に、(社)千葉県空調衛生工事業協会の金子邦夫副会長の閉会のことばで総会を終了しました。

なお、総会終了後、国土交通省関東地方整備局の伊藤淳副局長から、「建設業をめぐる最近の諸情勢について」と題して、建設業のおかれた現状と様々な課題について、詳細な資料とデータに基づく講演が行われました。

また、総会・講演会終了後、懇親会が開かれ、まず主催者を代表して、千葉空衛の臼倉会長から歓迎の挨拶がありました。続いて、高須関東支部長の挨拶、来賓としての堂本暁子千葉県知事、林孝二郎千葉市副市長の挨拶、また、同じく来賓として、国土交通省関東地方整備局の伊藤淳副局長、瀬尾真一建政部建設産業調整官ほかの紹介がありました。

この後、石田栄一日空衛会長の乾杯に続き、懇談に入り、日空衛本部並びに関東支部を構成する1都7県1市・9団体の参加者約140名が情報を交換し、懇親を深めて散会しました。

当工業会からは、川本会長(副支部長)、松本・山本副会長、鈴木・渡辺・大内理事、辻専務理事が出席しました。

定例理事会議事報告（7月・9月・10月）

7月定例理事会

平成19年7月13日(金)午後4時から第420回定例理事会が開催された。

その議事内容の要旨は次のとおりである。

1. 神奈川フィルハーモニー管弦楽団による「設立40周年記念コンサート」の開催(案)について

松本副会長兼総務委員長から、辻専務理事に対して、神奈川フィルハーモニー管弦楽団による「設立40周年記念コンサート」の開催(案)について資料説明が求められた。

専務理事が資料により説明を行い、協議の結果、了承された。

2. 日空衛「関東支部総会」について

松本副会長から、10月26日(金)に千葉市「京成ホテルミラマーレ」で開催される日空衛「関東支部総会」について説明があり、川本会長から、当工業会として、正副会長、各委員長、専務理事の出席を求める発言があり、了承された。

9月定例理事会

平成19年9月14日(金)午後2時から第421回定例理事会が開催された。

その議事内容の要旨は次のとおりである。

1. 入会申込みについて

松本副会長兼総務委員長から、辻専務理事に対して、入会申込みについて資料説明が求められた。

専務理事が資料により、「東都熱工業株式会社」の入会申込みについて説明を行い、本件は理事会前に開催された審査会において、「入会可」の審査結果が出た旨報告があった。

この後、理事会として協議した結果、入会審査基準をすべて満たしており、そのほか特段の問題もないので、全会一致で入会することを承認した。

2. 日空衛「全国会議」について

松本副会長から、10月11日(木)に京都市「リーガロイヤルホテル京都」で開催される日空衛「全国会議」について説明があり、川本会長から、当工業会として、正副会長、専務理事の出席を求める発言があり、了承された。

3. 職員の服務規則の改正について

松本副会長から、辻専務理事に対して、職員の服務規則の改正について資料説明が求められた。

専務理事が資料により、高年齢者雇用安定法の改正に伴い、満65歳の誕生日までの継続雇用制度を導入するための職員の服務規則の改正(案)について説明を行い、協議の結果、原案のとおり承認された。

10月定例理事会

平成19年10月10日(水)午後2時から第422回定例理事会が開催された。

その議事内容の要旨は次のとおりである。

1. 予備費の振替について

松本副会長兼総務委員長から、辻専務理事に対して、予備費の振替について資料説明が求められた。

専務理事が資料に基づき、予備費から修繕費への予算科目間の振替について説明を行い、了承された。

2. 中間決算について

松本副会長から、辻専務理事に対して、中間決算について報告が求められた。

専務理事が資料により報告を行い、承認された。

3. 12月定例理事会について

松本副会長から、12月定例理事会について、12月14日(金)午後2時30分から「華正樓」本店で行いたい旨の説明があり、了承された。

横浜市まちづくり調整局主催による防災訓練行われる 安全委員会

防災の日の9月1日(土)に先立ち、8月24日(金)に「横浜市公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づき、災害時の迅速な防災拠点の確保に向けた即時出動訓練が、横浜市と出動協定をしている建設5団体の横浜建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、横浜市電設協会、神奈川県電業協会、当神奈川県空調衛生工業会の即時出動会員、バックアップ会員の合計263名が参加し、特に震災時の重要な拠点となり、中心的な役割を果たす区庁舎、消防署、病院等で実施されました。

横浜市指定の51施設のうち、今回は36施設を対象に訓練が実施され、当工業会からは、即時出動会員46名(25社)とバックアップ会員38名(36社)の合計84名(55社)〔※即時、バックアップ重複6社〕が訓練に参加しました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障、漏水などを想定した被害状況が報告され、各所で安全点検、安全措置などを訓練実施しました。

訓練は、各出動者の協力のもと滞りなく終了しました。本番さながらの訓練は、今後の対応の中で生かされるものと思います。

今回の防災訓練に参加し、ご協力をいただいた会員会社

◎ 即時出動会員

(株)朝日工業社、有賀工業(株)、エルゴテック(株)、神奈川県東京冷機(株)、(株)金子工業所、川本工業(株)、(株)京浜設備工業所、興信工業(株)、(株)光電社、斎久工業(株)、三機工業(株)、(株)城口研究所、新菱冷熱工業(株)、(株)鈴木工務店、正和工業(株)、第一工業(株)、(株)大気社、大成温調(株)、ダイダン(株)、(株)太陽設備、高砂熱学工業(株)、(株)西原衛生工業所、日宝工業(株)、山本電気水道(株)、渡辺工業(株)

◎ バックアップ会員

アトム冷熱工業(株)、(株)アベック、(株)康栄社、興和工業(株)、(株)小松工業、相模設備工業(株)、(株)サノセキエンジニアリング、三建設備工業(株)、(株)三晃空調、神中工業(株)、新日本空調(株)、新菱冷熱工業(株)、須賀工業(株)、設備メンテナンス(株)、第一工業(株)、第一設備工業(株)、太建工業(株)、大成温調(株)、ダイダン(株)、(株)太陽設備、中央設備エンジニアリング(株)、(株)テクノ菱和、南海工業(株)、日新設備(株)、(株)日設、(株)ニッセツ、日比谷総合設備(株)、豊正工業(株)、三沢電機(株)、南設備工業(株)、(株)モリヤ総合設備、(株)ヤマト、山本電気水道(株)、(株)ヨコレイ、菱和設備(株)、(株)渡辺管工業



平成19年度第1回経営幹部研修会開催 「品確法」の正しい理解と企業戦略」で講演 研修委員会

平成19年度の第1回経営幹部研修会が7月12日(木)午後2時から ロイヤルホールヨコハマにおいて開催されました。

今回の研修会は、会員企業の経営に資するため、有限責任中間法人建設情報化協議会理事吉田信雄氏を講師に招いて講演が行われ、(社)神奈川県電業協会からの参加も得て、39名が受講しました。

開講に先立ち、川本会長から主催者を代表して本研修会の意義等について挨拶があり、続いて吉田講師よりテキストに基づく講演が行われました。

講演

テーマ

「品確法」の正しい理解と企業戦略
～総合評価方式で生き残るために～

講師 有限責任中間法人建設情報化協議会
理事 吉田 信雄 氏

内容(概要)

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」いわゆる「品確法」が平成17年4月に施行され、現在、国土交通省のほか各自治体にも浸透し始めています。

しかしながら、発注者側からは、建設企業に対して「何をしなさい」といった具体的な指示はほとんどありません。自分達で解釈して勝手に取り組みなさいと言わんばかりです。

本研修会では、建設企業の視点から「品確法」の内容をわかりやすく解説するとともに、建設企業として取り組むべき方策について解説します。

(主な項目)

- 1 「品確法」とはどんな法律か
- 2 「品確法」を受けて建設企業はどう取り組むべきか
- 3 生き残りをかけた企業体質の変革
- 4 経営者よ！意識変革せよ！
- 5 さあ、遅れをとらないようにスタートしよう



平成19年度第2回経営幹部研修会開催 「建設企業のためのやさしい戦略と計画の立て方」で講演 研修委員会

平成19年度の第2回経営幹部研修会が10月23日(火)午後2時から ホテル横浜ガーデンにおいて開催されました。

今回の研修会は、会員企業の経営に資するため、(株)建設経営サービス建設経営研究所主任コンサルタント松井博孝氏を講師に招いて講演が行われ、(社)神奈川県電業協会からの参加も得て、39名が受講しました。

開講に先立ち、川本会長から主催者を代表して本研修会の意義等について挨拶があり、続いて松井講師よりテキストに基づく講演が行われました。

なお、本研修会は、横浜市の建設関連産業活性化支援事業に伴うアドバイザー派遣制度要綱第5条第4項の規程に基づくアドバイザー派遣事業に指定されています。

講演

テーマ

3年後の自社の姿が見えない企業必見!!

「建設企業のためのやさしい戦略と計画の立て方」

講師 (株)建設経営サービス建設経営研究所
主任コンサルタント 松井 博孝 氏



内容(概要)

不確定要素が多く不安定な時勢です。こういう時だからこそ、自社の現状と自社を取り巻く環境を見据えた上で、今後進むべき方向と目標を示し、目標達成に向けて全社的に取り組んでいくことが必須となります。

本研修では、各社が今後取り組むべき事項を確認し、目標設定と行動計画立案・実行のポイントについて具体的事例を交えて解説します。

(主な項目)

- 1 今後3年間に何を行うか(現状の把握と問題点の発見)
- 2 目標設定の考え方
- 3 目標設定のための行動計画立案と実行のポイント
- 4 企業の質を高めるために実践すべきこと
- 5 経営計画の策定・実行手順(経営計画の実例紹介)



公立工科・工業高校現場実習生の受入れを実施 渉外委員会

新しい教育課程の取組みへの協力の中で、毎年、公立工科・工業高校からの生徒に対する「現場実習生受入れ制度」を実施していますが、昨年に引き続き、本年も会員会社4社のご協力を得て、神奈川県立藤沢工科高等学校からの実習生24名を受入れて実施されました。

現場実習にご協力いただいた会員各社

協力会員会社	実習生徒数
川本工業(株)	10名
ダイダン(株)	5名(※1)
山本電気水道(株)	5名
三沢電機(株)	4名(※2)

※1
学校の都合で10名の予定が5名に

※2
学校の都合で5名の予定が4名に

平成19年度研修見学会開催

三菱電機(株) 静岡製作所 渉外委員会

◎ 研修見学会に参加して

株式会社 朝日工業社 営業部 奥野 享

平成19年11月6日(火)から11月7日(水)の2日間にわたり(社)神奈川県空調衛生工業会渉外委員会主催の研修見学会に参加させていただき、三菱電機株式会社静岡製作所を見学してまいりましたので報告させていただきます。今回の研修会の目的としては、日頃我われ設備工事業者が取り扱っている製品の生産工程から最新の製品知識を理解し今後の施工に役立てるといことです。

[三菱電機株式会社 静岡製作所 概要]

創立年月日 1954年4月1日
所在地 静岡県静岡市駿河区小鹿3丁目18番1号
敷地面積 214,829㎡
建物面積 174,779㎡
従業員数 1,500名

主要生産品目

- ・ 冷蔵庫
- ・ 冷凍庫
- ・ ルームエアコン(霧が峰)
- ・ ハウジングエアコン
- ・ 店舗・事務所用エアコン(ミスタースリム)
- ・ 空調用及び産業用コンプレッサー

日本一の高さとしを誇る富士山を背景とした風光明媚な静岡の地に、1954年、三菱電機株式会社静岡製作所は冷凍空調機の専門工場として設立されたそうです。以来、冷蔵庫、ルームエアコン、パッケージエアコン、コンプレッサーなどを中心に製品づくりをしてきた重要な生産拠点であります。

見学会当日、集合場所の横浜駅東口はあいにくの曇り空でありましたが総勢25名を乗せた新型の三菱ふそう社製(あとで気づいたのですがそこまで気配りされたのでしょうか)大型バスは一路三菱電機(株)静岡製作所を目指して定刻どおり出

発したのであります。東名高速足柄PAで休憩をとり小雨などもちらつきましたが、途中右手に見た富士山は頂上付近に雪雲と思われる雲をかぶっており冬装束の準備の真最中の様子などと思っているうちに渋滞もなく予定どおり午前10時30分すぎに目的地に無事到着。

工場の方々に出迎えていただき清潔感漂う会議室にて配布された資料にもとづき工場全体の説明をうけました。自然と環境に配慮した生産活動とともに自動化も含めた一貫生産システムをとっており厳重な品質管理を貫いているとのこと。敷地は東京ドーム5個分とのことではあり国内のみならず世界各国にむけて研究開発、生産、出荷している拠点であることを感じさせます。

資料では1954年から生産を開始した冷蔵庫、ルームエアコン、パッケージエアコンがどのように進化発展したかがひとめでわかる表があり約半世紀にわたる技術進化がよくわかりました。

引き続き隣接するショールーム「ギャラリエ」に移動し実際の現物を見学いたしました。「ギャラリエ」は家庭用ルームエアコンからオール電化・床暖房、店舗・事務所用エアコン、コンプレッサーなど先進の技術とシステムが実感できる体感型のショールームでお客様にベストマッチな暮らしや住空間の提案と、環境を強く意識して開発された商品を一堂のもとに見ることができます。実際の設備機器を目で見て、触れて、感じることでこの施設はとてもわかりやすく勉強になりました。また展示物の中には昭和の初期型から最新の機能を備えた最新の冷蔵庫が世代別に展示してあり昨今の昭和ブームに昔懐かしい気持ちになられた方も多いようでした。また外部に設置してある業務用エコキュートの実機も見学することができました。

昼食をはさんで午後は記念撮影のあとよいよ工場の生産ラインの視察になりました。整理の行き届いた工場内を案内の方について家庭用エアコン「霧ヶ峰」及びスリムエアコンの組み立ての工程にそって間近に見ることができました。

ひとつひとつの製品が長大なライン上をいくつもの工程を経ながら次々と完成してゆく様は圧巻で製品の組み立てにたいする工場の方々の真剣な姿勢が伝わってくるとともに梱包され出荷されていくのを見るとなにか世の中の購買力を実感するようでした。

休憩をはさんで再び会議室にてルームエアコン「霧ヶ峰」の製品説明がありました。競合メーカー各社とも新技術を投入するなかで三菱電機としては床や壁の温度に加えて人の位置を検地する「人感ムーブアイ360」により効率的な運転、省エネを可能にすることをアピールしていきたいとのことでした。

最後に再び移動しあらゆる環境条件を再現し、さまざまな部屋におけるエアコンのあらゆるデータを測定できる実験施設「体感ラボ」を見学し質疑応答の後無事終了となりました。個人的には最後の挨拶の際に渡辺委員長のおっしゃられた「この先に我われの仕事がある」という言葉が印象に残りました。

今回の見学に際し今後の空調機器の製品開発のキーワードはやはり「省エネ」であるとの感想を持ちました。地球環境に優しい製品づくりに

各メーカーとも真剣に取り組んでいることはわれわれ施工業者も学ぶべき点はおおいにあると思いますし営業の立場からこれらの製品知識をもつことはお客様に提案するうえで非常に役立つと思われます。私自身は営業という立場からともすればその現場でつかわれている機器に直接接することは少ないのですがそのひとつひとつが最新の技術を備えよりよい環境づくりに役立っていることを再認識いたしました。

その意味で今回の研修見学会に参加させていただいたことは非常に有意義であったと思います。

工場見学会の後、焼津グランドホテルに場所を変え懇親会というかたちで参加された方々と懇親を深めさせていただき、また有意義なお話もいろいろ伺うこともできとても充実した時間を過ごすことができました。

最後になりますが、今回大変お世話になりました三菱電機(株)静岡製作所の方々、また本研修見学会の開催のためにいろいろとご尽力されました渡辺渉外委員長、古屋同副委員長をはじめ、渉外委員の皆様方に深く御礼申し上げます。



親 睦 会 報 告

◎平成19年度前期ボウリング大会



優勝者 安藤 孝信氏
〔株〕モリヤ総合設備

優 勝 安藤 孝信〔株〕モリヤ総合設備
準優勝 黒石 宗敦〔須賀工業(株)〕
ハイゲーム賞 本庄 正明〔株〕朝日工業社

渉外委員会主催の前期ボウリング大会が平成19年7月18日(水)に若葉ハイランドレーンにおいて19名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

◎平成19年度釣大会



優勝者 鈴木 禎二氏
〔三晃空調(株)〕

優 勝 鈴木 禎二〔三晃空調(株)〕
準優勝・大物賞 小畑 徹〔ダイダン(株)〕

渉外委員会主催の後期釣大会が平成19年11月1日(木)に金沢漁港「三春丸」において11名が参加して行われました。上位の入賞者は次のとおりです。

◎平成19年度後期ゴルフ大会



優勝者 加藤 和彦氏
〔山本電気水道(株)〕

優 勝 加藤 和彦〔山本電気水道(株)〕
準優勝 樋沢 賢司〔株〕I N A X
ベストグロス賞 加藤 和彦〔山本電気水道(株)〕

渉外委員会主催の後期ゴルフ大会が、平成19年10月18日(水)に横浜カントリークラブにおいて37名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。



平成19年度後期ゴルフ大会参加者の皆様

新 会 員 紹 介

《正会員》

◎新入会員

- ・東都熱工業株式会社 (平成19年9月入会)
〒210-0011
川崎市川崎区富士見2丁目5番6号
代表取締役 林田 武
TEL 044-244-7230
FAX 044-233-7421



会 員 消 息

《正会員》

◎代表者・事業所所在地変更

・株式会社日設

代表者（変更日 平成19年5月）

新 代表取締役 吉村 正孝

旧 代表取締役 比嘉 悠紀三

事業所在地（変更日 平成18年1月）

新 〒231-0015

横浜市中区尾上町4-47

（リスト関内ビル5階）

旧 〒231-0015

横浜市中区尾上町4-47

（大和横浜ビル5階）

◎代表者・事業所責任者変更

・三機工業株式会社

代表者（変更日 平成19年7月）

新 代表取締役 有馬 修一郎

旧 代表取締役 宅 清光

事業所責任者（変更日 平成19年6月）

新 横浜支店長 堤 充永

旧 横浜支店長 門池 功

・株式会社テクノ菱和

代表者（変更日 平成19年4月）

新 代表取締役社長 阿部 捷司

旧 代表取締役社長 林 昭八郎

事業所責任者（変更日 平成19年7月）

新 横浜支店長 関本 文彦

旧 取締役横浜支店長 平松 博

◎代表者変更

・南海工業株式会社（変更日 平成19年10月）

新 代表取締役 安室 昌子

旧 代表取締役 安室 正彦

・株式会社城口研究所（変更日 平成19年6月）

新 代表取締役社長 長南 敏夫

旧 代表取締役社長 熊谷 元孝

・須賀工業株式会社（変更日 平成19年4月）

新 代表取締役社長 神木 宣夫

旧 代表取締役社長 吉井 英輝

・設備メンテナンス株式会社

（変更日 平成19年6月）

新 代表取締役 村上 純一

旧 代表取締役 有賀 弘

◎本社所在地変更

・株式会社清田工業（変更日 平成19年11月）

新 〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町7番6号

（イトーピア第2大伝馬町ビル5・6階）

旧 〒103-0006

東京都中央区日本橋富沢町12番14号

・新日本空調株式会社（変更日 平成19年9月）

新 〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号

（浜町センタービル）

TEL 03-3639-2740

FAX 03-3639-2732

旧 〒103-0021

東京都中央区日本橋本石町4丁目4番20号

（三井第2別館）

TEL 03-3279-5681

FAX 03-3270-9472

・株式会社ヨコレイ（変更日 平成19年6月）

新 〒240-0053

横浜市保土ヶ谷区新井町657

旧 〒240-0053

横浜市保土ヶ谷区新井町656

◎事業所責任者変更

・大成設備株式会社（変更日 平成19年7月）

新 神奈川支店長 木村 清志

旧 神奈川支店長 小林 博史

・日比谷総合設備株式会社（変更日 平成19年6月）

新 横浜支店長 山崎 健兒

旧 横浜支店長 松本 正義

◎事業所所在地変更

- ・中央設備エンジニアリング株式会社
(変更日 平成19年10月)
新 〒231-0021
横浜市中区日本大通18番地
(KRCビルディング9階)
旧 〒231-0011
横浜市中区太田町6丁目87番地
(横浜フコク生命ビル8階)

《賛助会員》

◎代表者変更

- ・ダイキン空調神奈川株式会社
(変更日 平成19年10月)
新 取締役社長 関本 雄樹
旧 取締役社長 金子 正弘

◎社名・本社所在地・事業所名変更

- ・株式会社ブリヂストンTKK
代表取締役 上坂 輝夫
社名 (変更日 平成19年5月)
新 株式会社ブリヂストンTKK
旧 ブリヂストン建築用品東京株式会社
本社所在地 (変更日 平成19年5月)
新 〒105-0011
東京都港区芝公園2-4-1
(ダヴィンチ芝パーク A館9階)
TEL 03-4590-7000
FAX 03-4590-7020
旧 〒105-0014
東京都港区芝1-12-7
TEL 03-3798-5621
FAX 03-3798-5627
事業所名 (変更日 平成19年5月)
新 株式会社ブリヂストンTKK 横浜営業所
横浜営業所長 阿部 茂
〒231-0005
横浜市中区本町1-3 (綜通横浜ビル8階)
TEL 045-222-7750
FAX 045-222-7790
旧 ブリヂストン建築用品東京株式会社
横浜支店

◎事業所責任者変更

- ・株式会社INAX横浜支社 (変更日 平成19年4月)
新 横浜支社長 原 健造
旧 横浜支社長 細川 昇一

◎事業所所在地変更

- ・イシグロ株式会社 (変更日 平成19年9月)
新 〒231-0047
横浜市中区羽衣町1-3-1
(太陽生命関内ビル6階)
TEL 050-2016-1041
FAX 045-286-0011
旧 〒235-0016
横浜市磯子区磯子2-29-29
TEL 045-750-5831
FAX 045-750-5875
・株式会社立売堀製作所 (変更日 平成19年9月)
新 〒231-0047
横浜市中区羽衣町2-7-10
(関内駅前マークビル9階)
旧 〒231-0047
横浜市中区羽衣町2-7-10
(日本生命関内ビル9階)

◎電話・ファックス番号変更

- ・ジョンソンコントロールズ株式会社 関東支店
(変更日 平成19年9月)
新 TEL 03-5738-6282
FAX 03-5738-6331
旧 TEL 03-5738-6091
FAX 03-5738-6295

※お詫びと訂正

前号(第98号)の会員変更の一部に誤りがありました。ここに改めてお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

《賛助会員》

◎事業所責任者変更

- ・三洋電機販売株式会社 東京支社神奈川営業部
神奈川第二営業所 (変更日 平成19年4月)
新 所長代理 山本 善三
旧 東京支店長 宗田 順一

当工業会設立40周年記念 「クリスマス ハートフル コンサート」(ご案内)

行 事 名	(社団法人 神奈川県空調衛生工業会 設立40周年記念事業) —こころ満たされる— クリスマス ハートフル コンサート
開 催 日 時	平成19年12月11日(火) 19:00 開演 (20:30 終演予定)
会 場	横浜みなとみらいホール
出 演	指揮・お話し/山田 和樹 オーケストラ/神奈川フィルハーモニー管弦楽団
開 催 趣 旨	当工業会の設立40周年記念事業として、神奈川新聞厚生文化事業団、横浜市社会福祉協議会をとおして申し込まれた交通遺児・身体・知的障害者・恵まれない子供達と保護者200組400名並びに一般公募した県内小・中・高生と保護者200組400名を無料でご招待
参加者の範囲 及び参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通遺児・身体・知的障害者・恵まれない子供達と保護者 200組 400名 ・ 県内小・中・高生と保護者 200組 400名 ・ 当会関係機関・友誼団体等来賓 200名 ・ 当会正会員・賛助会員企業 500名 <p style="text-align: right;">合計 1,500名</p>
協力・後援団体	協力：横浜みなとみらいホール 後援：財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
連 絡 先	社団法人 神奈川県空調衛生工業会事務局 〒231-0002 横浜市中区海岸通4-18 電 話：045-201-9536 FAX：045-211-2477



社団法人 神奈川県空調衛生工業会
設立40周年記念



神奈川フィル

こころ満たされる

クリスマスコンサート

無料



2007年12月11日(火)

19:00開演(18:20開場)※20:30終演予定

横浜みなとみらいホール

指揮・お話/山田 和樹 Kazuki Yamada

オーケストラ/神奈川フィルハーモニー管弦楽団



第1部

あなたを楽しいクラシックの世界へ

ビゼー/歌劇「カルメン」より前奏曲

グリーグ/「ペールギュント」第1組曲より
「朝」「山の魔王の宮殿にて」

マスカーニ/歌劇

「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

アンダーソン/

ブリンク・ブレンク・ブランク

アンダーソン/タイプライター

シベリウス/交響詩「フィンランディア」



第2部

クリスマス・オン・クラシック

フンパーディンク/

歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲

チャイコフスキー/バレエ音楽

「くるみ割り人形」より抜粋



山田 和樹

1979年、神奈川県茅野市生まれ。
2001年3月、東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。安宅賞受賞。
指揮法を小林研一郎、松尾葉子の両氏に師事。
2002年7月には、ザルツブルグ・モーツァルテウム・サマーアカデミーに参加、ゲルハルト・マルクソン氏に指導を受ける。
これまでに、オーケストラでは、ブルガリアVARNAフィル、セントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団メンバーによる室内合奏団をはじめ、横浜市立大学管弦楽団(ミュージックアドバイザー)、千葉県少年少女オーケストラなど全国約50団体以上のアマチュアオーケストラの指揮指導にも力を注いでいる。
今年、2007年は、2月に神奈川フィルハーモニー管弦楽団、委嘱作品初演を含む東京混声合唱団第209回定期演奏会を指揮した。さらに1月には、シャルル・デュワ指揮のNHK交響楽団定期演奏会(プロコフィエフ/アレクサンドル・ネフスキー)にて東京混声合唱団(120人編成)の合唱指揮を担当、その音楽作りをデュワ、N響から絶賛された。
今後、2007年5月~6月、12月にオーケストラ・アンサンブル金沢、7月に瀬戸フィルハーモニー交響楽団定期演奏会、8月、12月に神奈川フィルハーモニー管弦楽団、2008年2月に委嘱作品初演を含む東京混声合唱団第214回定期演奏会での指揮が予定されている。
<http://www17.ocrn.ne.jp/~yamakazu/>



神奈川フィルハーモニー管弦楽団



1970年3月、神奈川県唯一のプロ・オーケストラとして発足。1978年7月に財団法人に、1985年6月には特定公益法人に認可される。以来、地元企業からの支援とともに、神奈川県、横浜市、川崎市、さらに文化庁からの助成を受け今日に至る。

2000年9月から常任指揮者に現田茂夫が、2002年4月からポップスオーケストラ音楽監督に藤野浩一がそれぞれ就任。2007年4月に音楽監督としてドイツ音楽の巨匠ハンス=マルティン・シュナイトを迎え、今最も注目されているオーケストラである。 <http://www.kanaphil.com>

主催/社団法人 神奈川県空調衛生工業会
協力/横浜みなとみらいホール

後援/財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



うみぎし 海岸 そら 空

そら まもる くうえいもんどう
空ちゃんとおじさんの空衛問答

くう えい
空 Q & A 衛



とおり 通 まもる 衛

Q 「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」って、どんな会なの？

A 神奈川県内で「空調衛生設備工事業」を仕事にする有力な会社約100社が会員になっている県知事許可の会（企業集団）だよ。

Q 「空調衛生設備工事業」って、どんな仕事をする会社なの？

A おもに建物内の空調、冷暖房、給排水、衛生、防災、環境、省エネルギー等の設備工事の仕事をする会社だよ。

Q 「空調衛生設備」って、私たちの暮らしにも関係があるの？

A 関係があるよ。マンションや病院、学校や市民ホール、オフィスビルや工場など私たちの身近にある建物内の空調衛生設備のほか、最近では、横浜市のみなとみらい地区に見られるような超高層ビル群や大深度地下鉄駅コンコース内の空調衛生設備など、より専門的な技術を必要とする工事も増えているんだ。

Q 「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」って、どんなことをしているの？

A 空調衛生設備工事の品質の確保とお客様の満足度を向上するため、「技術と経営に優れ、信頼される企業集団」をめざして、会員会社の技術力と経営力を高めるための技術講習会や経営研修会などさまざまな事業を行っているんだ。

また、人々に快適な空間を提供し、地球環境の保全にも努めている企業集団として、会の設立目的である公共の福祉の増進と地域社会の発展に貢献するための活動を積極的に展開しているんだ。

人々に空気と水で40年 さらに飛躍の神空衛



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

〒231-0002 横浜市中区海岸通4丁目18番地
TEL 045-201-9536 FAX 045-211-2477

<http://www.shinkuei.or.jp/>

編集後記

めっきり日脚が短くなり、冬がすぐそこまで来ているような、今日このごろです。

早いもので今年も残すところあと1ヶ月。会員各位の皆様にとって今年はどのような1年でありましたでしょうか。

今年の話で思い出されるのは、政治では『なぜこの時期に?』と思わせた安倍内閣突然(?)の解散と福田新総理の就任。

食品関係ではミートホープ、赤福、白い恋人など繰り返される品質表示・賞味期限等の偽装問題。スポーツではボクシング世界戦での敗戦濃厚となってからの反則指示と反則行為にゆれた亀田問題。建設業においてはまたしても耐震偽装問題が取り出さされました。

あまり良い話題が出てこなく残念にも思いますが、良くない話題では必ずと言っていいほどマナーとモラルが問われているかと思えます。社会のモラルは個人のモラルによって守られています。皆様も今年一年を振り返り今一度お考えになってみてはいかがでしょうか。

最後に一言…

建設業に関してはどの業種においても慢性的な人手不足が囁かれる昨今ですが『ピンチの中にチャンスあり』となるよう会員各位努力していきましょう！

(M.O)



『安全』ポスター(2種類)を正会員各位に配付しました。(安全委員会)

会 報

第99号 平成19年11月30日

社団法人 神奈川県空調衛生工業会

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L: <http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail: info@shinkuei.or.jp

情報委員会

印刷 株式会社 D-サイト